

おはようございます。令和6年が始まりました。

元日の午後4時10分頃、皆さんはどこで何をしていましたか。私は自宅の居間にいましたが、携帯から地震速報の警戒音が流れ、すぐに、2011年の東日本大震災に近い、めまいのような揺れを感じました。しばらくすると家具ががたがた揺れ始めたので、夫婦でテーブルの下に潜り、収まってからテレビをつけて能登の大地震と知りました。皆さんも訓練で学んだように直ちに身を守る行動ができましたか。外出中の場合はどうすればよいでしょうか。上からの落下物を防ぐために、持っているもので頭を守り避難します。公園などの開けた場所がよいそうですが、見あたらなければ、しっかりした頑丈そうな建物の中に一時待避しましょう。

さて、被災地ではまだ安否の分からない人も沢山いると思われれます。皆さんの中には親戚が被災されたという人もいるかもしれません、気がかりでしょう。辛うじて避難できた人も、避難所でいつまで続くから分からない不安な日々を過ごしていることを思うと、とても胸が痛みます。

そんな中で、地震発生から間もないうちに、偽情報が拡散されているという報道がされたのを知っていますか。政府も声明を出しています。具体的には「人工的に地震が引き起こされた」「原子力発電所で火災が発生している」などの不安をあおるデマ。ちょっと考えれば、報道をきちんと聞いていれば、まともでないことがすぐ分かるデマです。他にも、実在しない偽の地名や番地を騙り、「壊れた家に閉じこめられている、助けてください」と救助を要請する悪質な投稿や、QRコードを付けて偽の寄付を募る投稿もあったようです。偽情報の発信者は、間違いなく自分は大変な被害に遭っていない。暖かい部屋でスマホやパソコンをいじり、偽情報に惑わされる人を見て笑ったり、情報拡散によってカネを儲けようとしている。被災者を思いやったり、気の毒だと心を痛める、これを「惻隠の情」と言いますが、人としての感情を持ち合わせない利己的な行動に強い憤りを感じます。

一方で、偽情報を作り発信する「人でなし」は大勢いるかといえば、そう沢山いるわけではないと思います。むしろ、一般の人が、大変だ、心配だという善意から、情報の拡散に意図せず荷担してしまうケースも多い。誰もが情報を手軽に発信できるこの時代の、情報を扱う危険性を改めて認識しておく必要があります。

ともあれ、私たちはこうして学校もあり、授業もあり、被災地のためにいますぐできることには限界があります。被災されている方々に思いを寄せつつ、状況が見えてきて私たちにできることが明確になった時に、できる援助をそれぞれ実行しましょう。

さて、2学期の終業式にお話ししましたが、年の初めにそれぞれこの一年の計を心に刻むことができたでしょうか。3学期は年の初めではありますが、学校の中では一学年の締めくくりの時期でもあります。そこで、「終わりよければすべてよし」という言葉をお伝えしておきます。この「終わりよければすべてよし」という言葉は、もとはシェイクスピアの書いた作品のタイトルに由来します。逆境に見舞われた女性の主人公が最後は幸せを掴むよくあるストーリーと言えそうですが、ただ幸せが訪れるのを待つ話ではありません。工夫と知略を尽くして状況を変えていく、主人公の行動力が強く心に残る作品です。皆さんもふり返れば今年一年、色々なことがあったと思います。いいことばかりならいいですが、そういうわけにも行きません。ですが、最後は皆さん各人で、学年末に有終の美を収められるよう、それに向けて積極的な行動を起こしてくれることを期待しています。

特に3年生はいよいよ進路決定、卒業が迫ってきました。最後にエールを送りたいと思います。1、2年生の皆さんも次は自分の番だと思いながら聞いてください。皆さんが秋から冬にかけていよいよ本気モードで頑張っているのを、ずっと眼にしていました。皆さんには、周りを見渡すと苦楽を共にする仲間がいます。一人一人が「最後まであきらめず頑張るんだ」という強い意志をしっかりと持ち、最後までひたむきに挑戦してください。その熱い思いが、学年全体の莫大なパワーとなり、さらに各自の意欲の増大に繋がり、相乗効果でそれぞれの実力がさらに倍増していきます。体調に気を付けて、最後まで目標に向かって頑張ってください。健闘を祈ります。

以上、3学期始業式の式辞とします。